

Miles

自動車リース・ファイナンス・モビリティ管理向けERP

概要資料

目次

Milesソリューション ----- p01

Miles | Miles ウェブポータル | Miles eDocs

What is Miles? ----- p02

Milesについて

Why Miles? ----- p12

Milesを選ぶ理由

How Miles? ----- p13

導入までの流れ

Start Miles ----- p19

導入後サービスについて

ソフィコについて ----- p23

会社概要

Miles

- 世界30カ国、120以上のプロジェクトで導入されてきた自動車リース業務におけるフラッグシップアプリケーション
- リース・クレジット契約をエンドツーエンドで管理
- Milesに蓄積したデータをPower BIで可視化し、機械学習による予測モデルで成約率や残価予測にも展開可能

Miles eDocs

- Milesで生成した文書をデジタルで共有し、インタラクティブにアップデート可能
- 電子契約や電子署名を提供
- Milesとシームレスに連携しながら業務プロセス自動化
- 従量課金形式

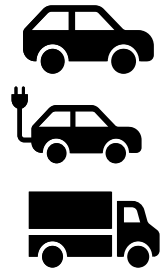
Miles Web Portals

- フロントオフィス業務向けにMiles機能をWebポータルを介して提供
- インタラクティブにMilesにアクセスでき、現場からバックオフィスとシームレスに業務連携
- 顧客向け、整備工場向け、販売店向けなど各種用途に対応
- 最新のマイクロサービスプラットフォームで高い運用性と柔軟性

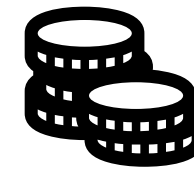
What is Miles?

Milesとは?

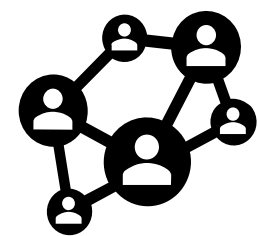




- ・ 自動車・商用車
- ・ 原動機付自転車
- ・ 大型特殊自動車
- ・ 自転車

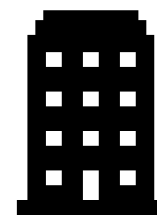


- ・ オペレーティングリース/ファイナンスリース
- ・ 個人向けリース
- ・ 個人向けローン
- ・ 在庫投融資
- ・ サブスクリプションサービス
- ・ カーシェアリング



- ・ バックオフィス
- ・ ミドルオフィス
- ・ フロントオフィス
- ・ ポイントソリューション

Miles

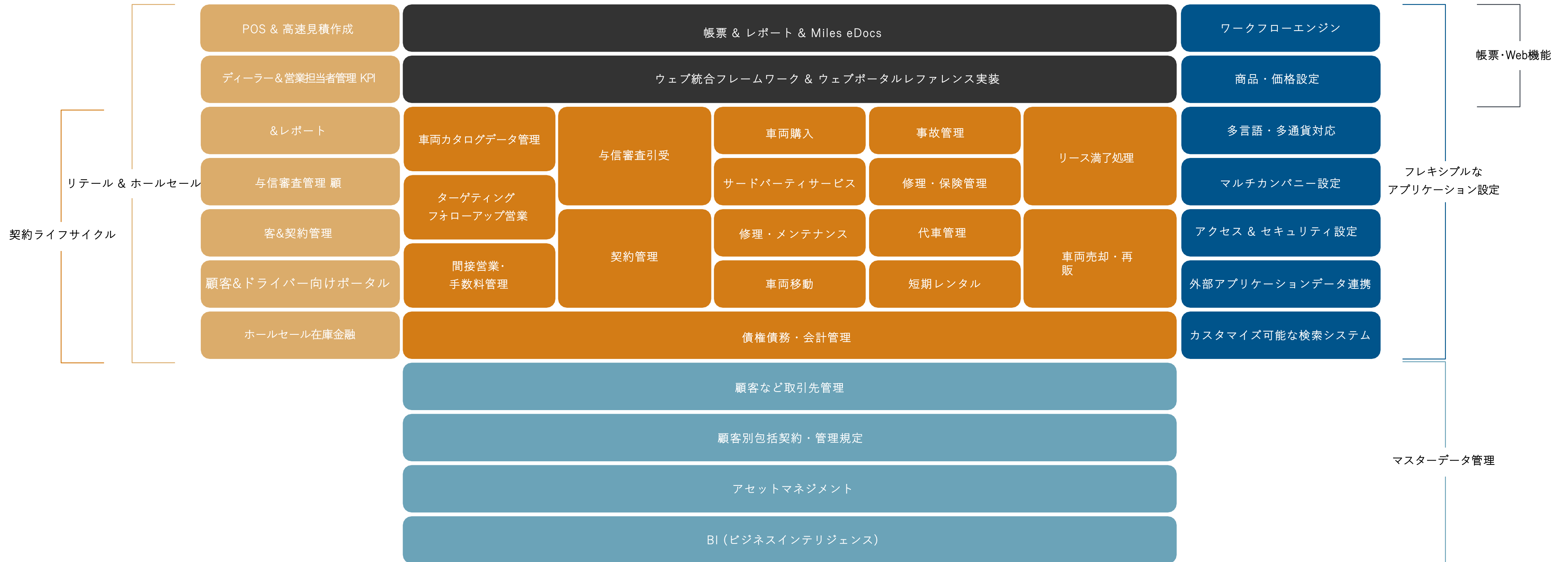


- ・ 国内リース企業
- ・ グローバル販売金融企業
- ・ グローバルリース企業
- ・ モビリティプロバイダー
- ・ リテールファイナンス企業
- ・ フリート管理企業

03

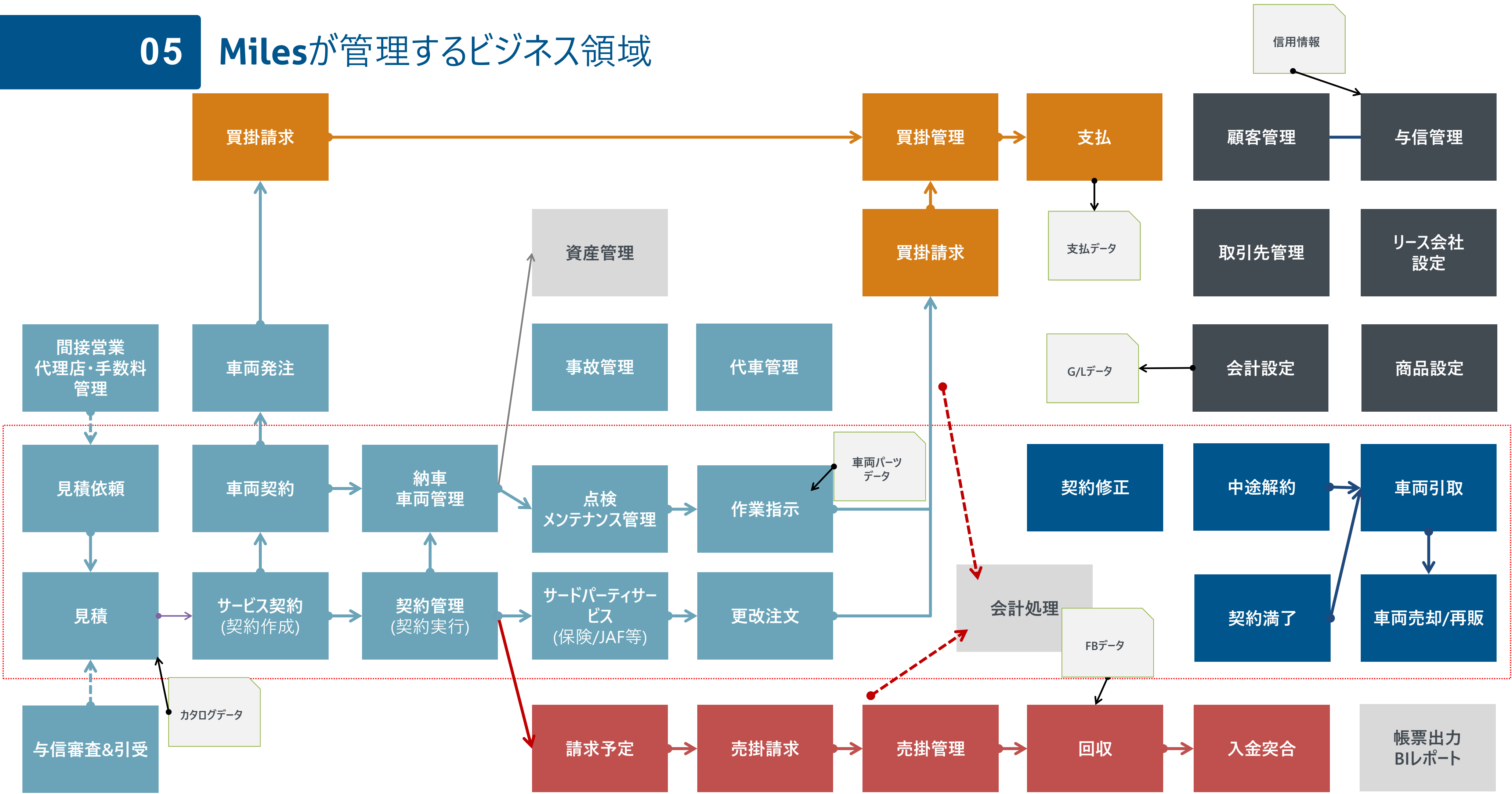
Miles 機能概要

取引先・見積・契約・車両管理・メンテナンス/修理・与信審査・会計・整備工場・ディーラー・保険代理店など、自動車リースにはさまざまな業務が存在します。従来の多くのシステムは個別に管理され、データ連携や税率変更、新規商品の追加などのたびにシステム改修が難しいケースが数多く発生しています。



05

Milesが管理するビジネス領域



2つの利点

Milesは2つの異なるシステム開発手法の利点をあわせ持つように設計されています。

自動車リース市場の基本的な要件を標準機能として実装しており、また個別のリース会社のワークフローやビジネスロジックをサポートできるユニークな構成になっています。

Milesは自社開発とパッケージソリューション、両方の特性を兼ね備えています。

自社開発 <small>オーダーメイド</small>	Miles <small>オーダーメイドと購入のハイブリッド</small>	パッケージ <small>ソフトウェア購入</small>
<ul style="list-style-type: none"> ▲ リース会社固有の戦略を反映した開発 ▲ リース会社固有のソリューション ▲ 長期的な商品戦略よりも現状の業務の優先度によって運用方針が決まる結果的に意にそぐわないソリューションとなることもある ▲ IT管理に膨大なヒト・モノ・カネのリソースが必要 ▲ リース会社に開発を決定、費用を全額負担し、外部ベンダーが開発する <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">常に開発が必要</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市場動向に適応した開発 高い自己完結性と柔軟性 ○ 高い自己完結性と柔軟性 ○ 自社ノウハウは保護される → ソフトウェア機能 (プログラムコード) とビジネスロジック (コンフィグ設定) を分ける ○ 変更作業が容易 (数時間～数日) ○ 運用方針は顧客に合わせて決定 ○ 中長期的な運用コストが抑えられる ○ 最新のテクノロジーを導入 <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">コンフィグで対応 (開発より低インパクト)</div>	<ul style="list-style-type: none"> ▲ パッケージベンダーのペースで開発 ▲ 競合他社も同じシステムを利用した場合、差別化不可 ▲ ノウハウはプログラムコードのみに存在 ▲ リース会社独自の業務プロセスは反映されないもしくは制限される ▲ 最大公約数的な機能になる ▲ 不要な機能であっても削除や変更ができない、利用しなければならない <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">規定された業務ルール/手順に従う必要あり</div>
市場ニーズへの対応： <div style="border: 1px solid white; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">甚大なコスト</div>	市場ニーズへの対応： <div style="border: 1px solid white; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">迅速</div>	市場ニーズへの対応： <div style="border: 1px solid white; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">不明確</div>



柔軟なアプリケーション

- ✓ 複数のリース会社を運用可能
- ✓ 迅速に商品・価格を設定可能
- ✓ ワークフローエンジンでさまざまな自動処理を組み込み
- ✓ 自在な検索機能・データ抽出
- ✓ GDPR準拠の強固なアクセスおよびセキュリティ機能
- ✓ 多国籍・多言語・多通貨対応



Web & モバイル

- ✓ マルチデバイス
- ✓ 販売代理店、車両管理担当者（顧客）、整備工場、ドライバーなど
- ✓ モバイルディスプレイを介したスマートフォン、タブレット



マスターデータ管理

- ✓ 取引先などリレーション
- ✓ 資産管理
- ✓ 顧客別包括契約 & 車両ポリシー
- ✓ 資産管理
- ✓ ビジネスインテリジェンス (BI)

Miles レイヤーDIPストラクチャー

Milesは独自の構造をしています。

ソフトウェアアーキテクチャーは3つのレイヤー(階層)で構成されており、レイヤーごとに独立した設定やカスタマイズが可能です。

3つのレイヤー

◆「コアレイヤー」

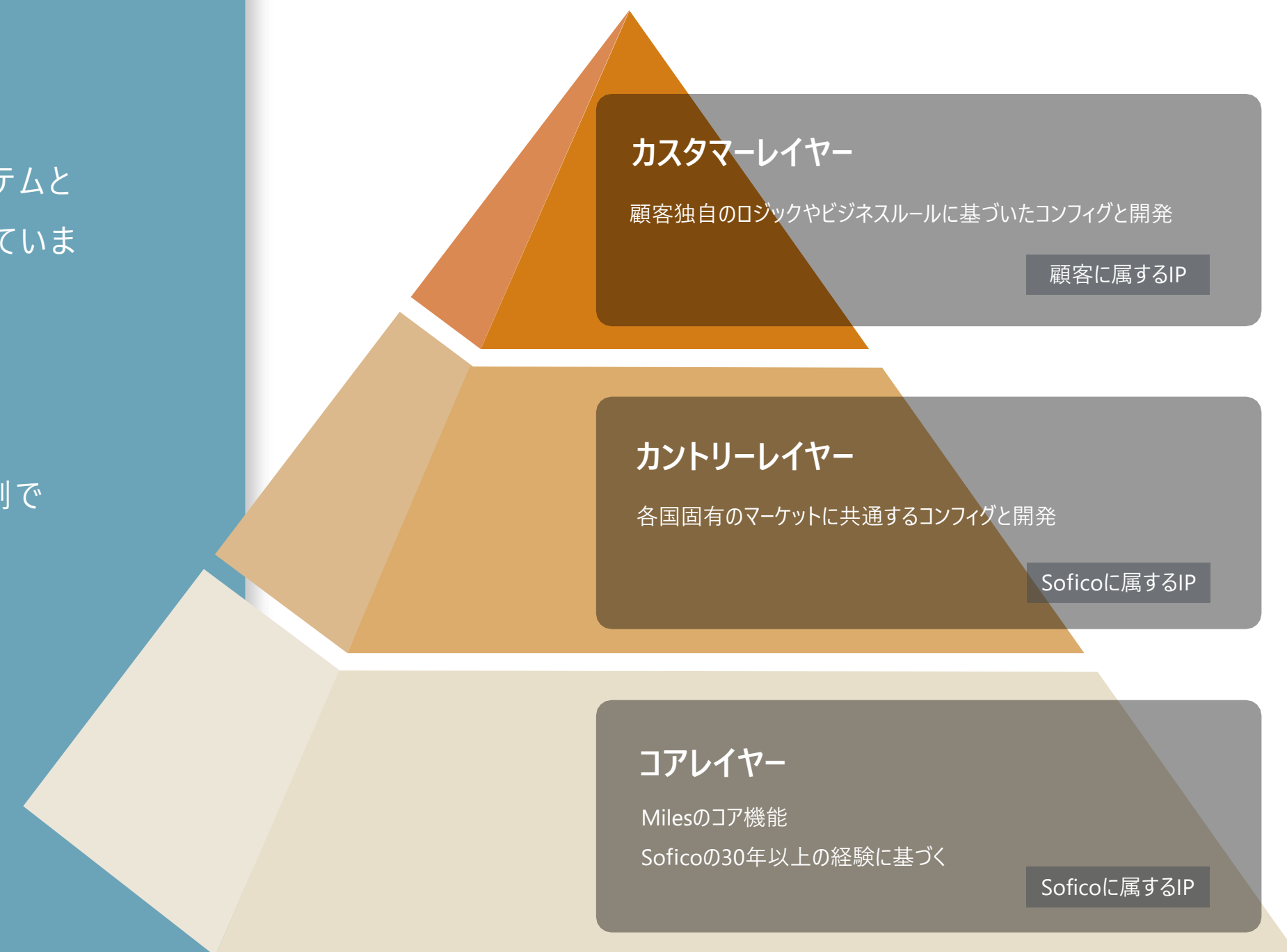
国や地域にかかわらず自動車リース業務に共通する機能やシステムとしての基本機能などMilesアプリケーションの共通基盤を格納しています。

◆「カントリーレイヤー」

その国固有の法令や商慣習などの仕様を格納しています。日本においては車検や法定点検、納車先の概念などがその一例です。

◆「カスタマーレイヤー」

最上層のカスタマーレイヤーでは、顧客固有のビジネスルール、ビジネスロジックに関するコンフィグや開発を格納しています。知的財産権はお客様に属します。



日本仕様

自動車リース業務に精通した日本のメンバーを中心に開発。
日本市場に最適化したカントリーレイヤーを実装しています。

◆ 日本市場の要件に対応

日本仕様のカントリーレイヤーは車検時の書類手配、公租公課の
更改、F/O判定ロジック、長期前払費用の処理、
契約満了時処理など日本市場固有の要件を実装しています。

◆ 導入コストを抑制

基本的な仕様をあらかじめ搭載しており、短期間でMilesを導入で
きます。そのため導入コストをおさえることができます。

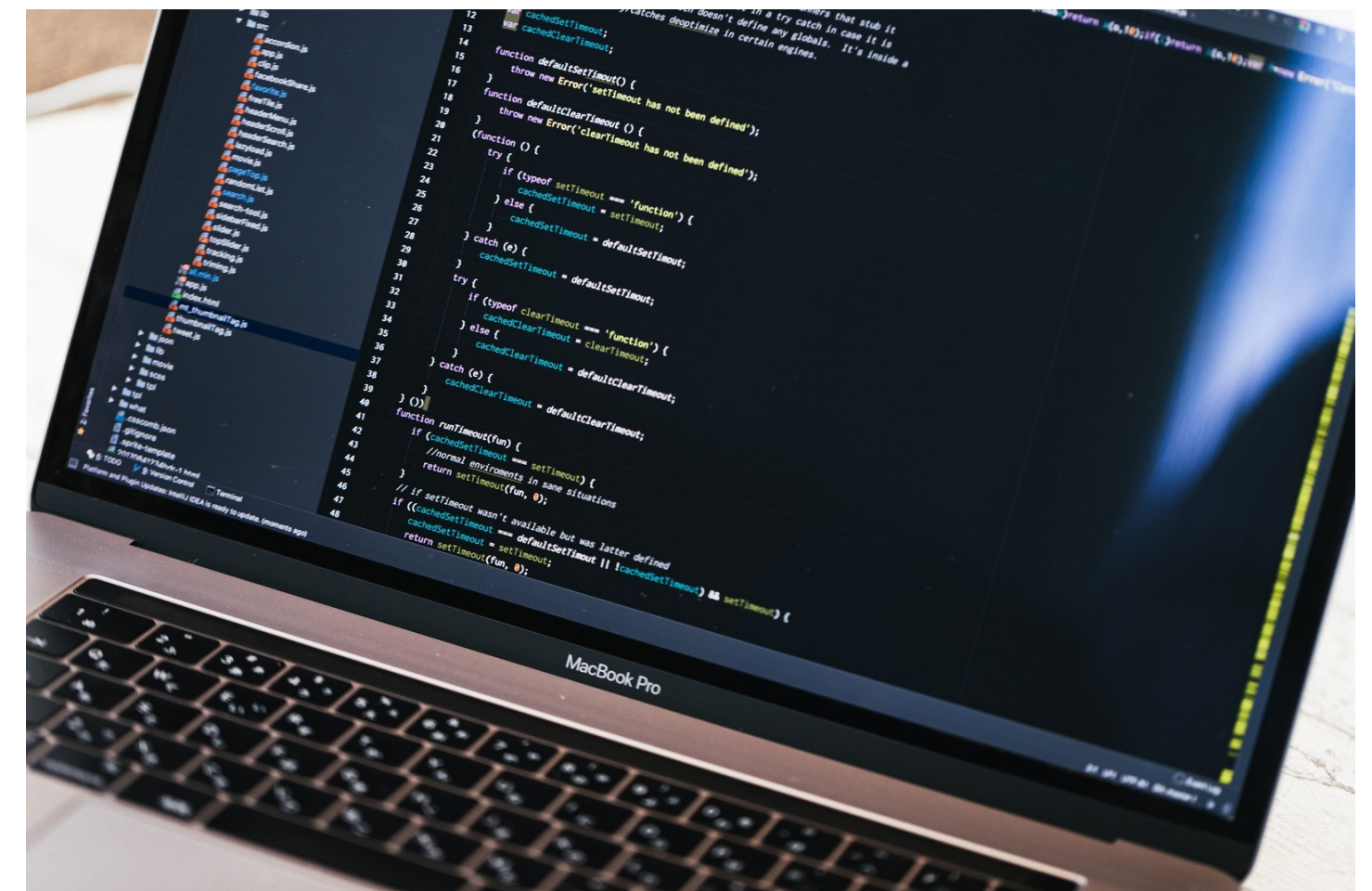
◆ 継続的にアップデート

カントリーレイヤーは継続的にアップデートされていますので、常に最新
の法制や商慣習に対応できます。

カントリーレイヤー (日本仕様)

車検時の書類手配 | 手形支払 | 公租公課更改 | 入金自動消込
F/O 判定ロジック | 各種インターフェイス | 長期前払い費用処理 etc.

- 道路運送車両法（登録・点検・車検・抹消、移転など）
- 各種税制（自動車税・固定資産税・重量税・環境性能割）
- エコカー減税・グリーン化税制自動計算（一部車両は除く）
- リサイクル預託金
- 補助金処理
- 車検証情報：AIRISとのインターフェース
- 自賠責保険、任意保険
- 帝国データバンク（TDB）
- 車両カタログデータ連携（JATOなど）
- ファームバンキングにおける入出金明細
- 会計基準（日本基準、IFRS、GAAP）
- FO判定（貸手/借手）



Why Miles ?

選ばれる理由



ユーザビリティ



どれでもMiles

さまざまなアプリケーションサーバ、データベースサーバと組み合わせて動作可能な柔軟性



どこでもMiles

Miles Webポータルを使えば、ディーラーなど外部ユーザーはいつでも、どこでもMilesにアクセス



シームレスな統合

RESTful APIをはじめ、豊富なインターフェースで外部システムとスムーズにデータ連携



柔軟なカスタマイズ

強力なコンフィグレーション機能によりほとんどのカスタマイズがコーディングせずに可能



優れた操作性

WebブラウザからMilesを操作。モダンUIで見積作成から請求書発行まであらゆる作業を直感的に操作

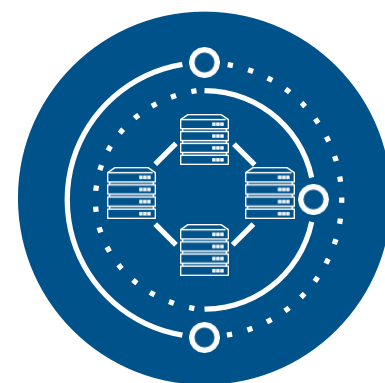
高可用性



データの高可用性

アプリケーションサーバをクラスタまたはフェイルオーバー構成にし、スタンバイデータベースと組み合わせるなど、高可用性を確保

BI



ビジネスインテリジェンス

ダッシュボード、テレマティクス、機械学習と組み合わせた営業分析や残価予測など、Miles BIがデータドリブン経営を推進

セキュリティ



データを守る

GDPRに準拠したセキュリティポリシーをはじめ、個人データへの不正アクセス防止を徹底



ログイン認証

お客様に合わせたパスワードポリシー、認証コンポーネントの変更ができる、LDAPなど外部ディレクトリシステムと統合運用



アクセス許可

ロールベース認証モデルを採用し、アクセス権限を柔軟に管理

How Miles ?

導入までの流れ



13

プロジェクトフェーズ全体像

Milesの導入プロジェクトは5つのフェーズに分けられます。

下図は、Miles導入における全体的なプロセスを示しています。

「準備」「要件収集」「実装」「SIT&UAT」「Go-Live後サポート」の5つのフェーズで構成されています。また実装フェーズは3つの「ウェーブ」に分かれます。



実装フェーズでは、各ウェーブが重要な構成要素になります。
ウェーブはさまざまな「機能ドメイン」で構成されます。
機能ドメインには取引先管理、車両発注、請求などがあります。

14

ウェーブ&スプリント

各ウェーブは複数のスプリントに分割されます。

1スプリントは通常4-6週間とし、スプリント期間中に設計・ビルド・テストを繰り返しまわしていきます。

ソフィコでは、ウォーターフォール形式とアジャイル形式を組み合わせながら、導入スピードと品質を高めています。



01 準備フェーズ

準備フェーズの実施内容は次の通りです：

プロジェクトの概要(目標、目的、利益、主要な成功要因、前提条件)を明記した
プロジェクト憲章、予算、タイムライン
プロジェクト依存関係、プロジェクト組織構成を作成・承認します。

初期のプロジェクト体制を構築します。
次のフェーズ(要件収集)に実施するトレーニングや各種ワークショップの計画と準備を行います。

02 要件収集フェーズ

要件収集フェーズでは、詳細なヒアリングを通してFIT & GAPを行います。

お客様の要件とMilesの動きを比較しながら正しい要件を固め、開発対象となるスコープを定義していきます。
このフェーズの最後にプロジェクト全体の計画が作成されます。

これにより、プロジェクトを複数のウェーブに分け、各マイルストーン、期日、成果物、ウェーブとその他のプロジェクトフェーズ間の相互依存性を定義します。
また役割、責任、スコープ、タイムテーブル、承認プロセス及び変更管理プロセスをすべて明確に定義します。

準備フェーズと要件収集フェーズの初期段階でMilesトレーニングを行います。
(テクニカルトレーニングと機能トレーニング)

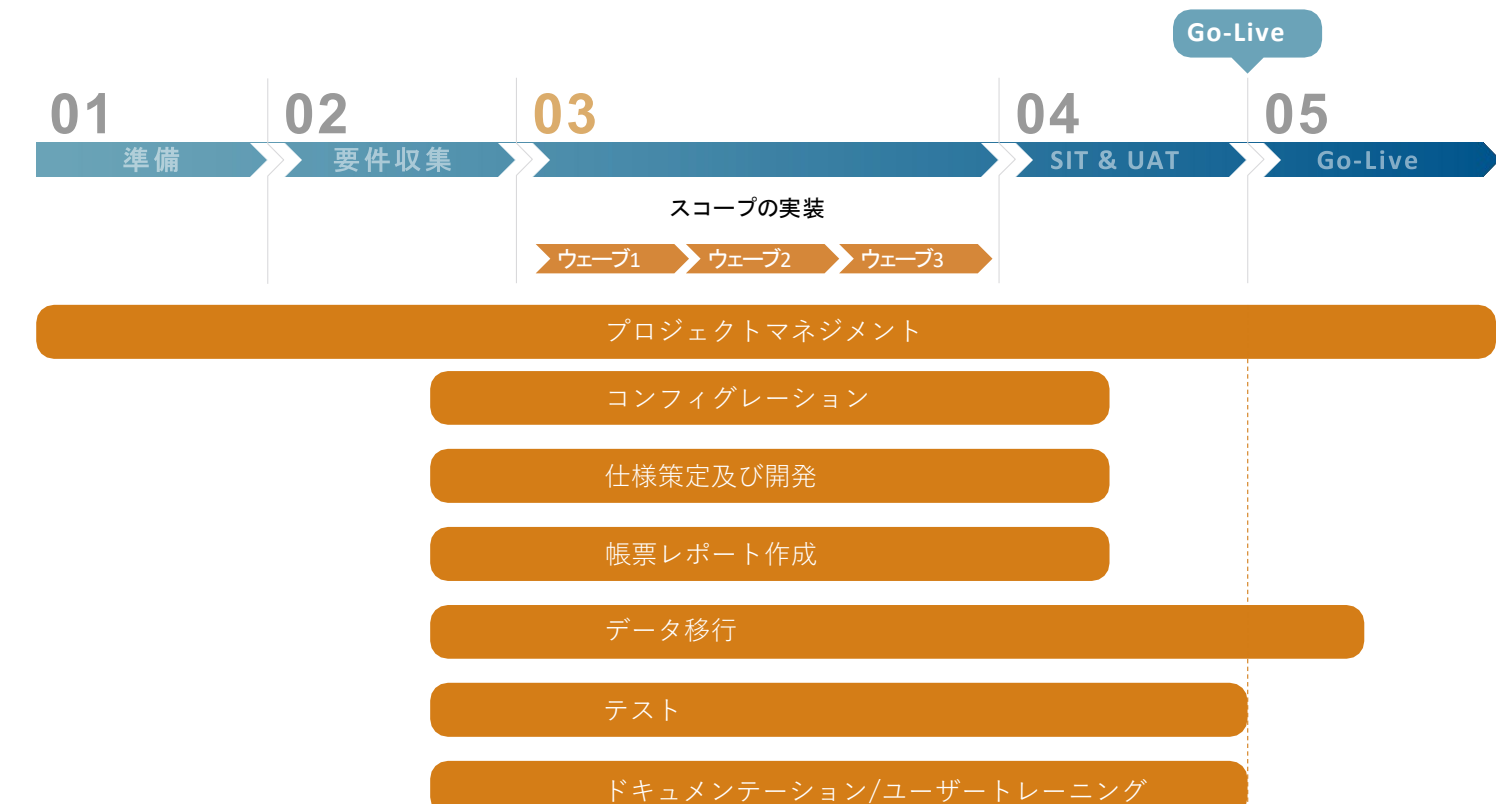
03 実装フェーズ

ビジネスのライフサイクルを論理的並びに時系列的に構築した3つのウェーブで構成されます。



後続のウェーブは、先行するタスクの完了に依存します。タスクは複数の機能ドメインに関連することがあります。各機能ドメインは特定の機能を有しており、また論理的に構成されています。

機能ドメインはMilesの導入プロセスにおいて重要なコンセプトです。機能ドメインさらにサブドメインに分割され、最終的に「機能トピック」単位で細分化されます。



各ウェーブの終わりにすべての関連データ、仕様変更、カスタム開発、コンフィグレーションをまとめてテストします。

それから各ウェーブで対応する機能に必要な本番環境をセットアップします。このアプローチ方法では、ミスはより迅速に発見され、導入期間が全体的に短縮化されます。

04 SIT & UATフェーズ

SITとUATフェーズは以下のステップで構成されます。

エンドユーザー向けトレーニング

- 必ずUAT前に実施

システム統合テスト (SIT)

- 他のシステムとMilesの統合テスト
- UATに先行して実施
- 完全なシステムを構築するため、必要機能だけでなく、すべての新しい機能と変更された機能を含みます。
- 他のシステムやインターフェースによる、アプリケーション連携が必要になります（外部ベンダーの関与など）

エンドツーエンドテスト

- プロジェクト全体にわたり、特定のプロセスをテストする際に行います。（例:見積はウェブ1でエンドツーエンドテストを実施します。）
- 最後にすべてのプロセスを通してエンド・ツー・エンドでテストを実施します。

ユーザー受入テスト (UAT)

- お客様のビジネスユーザーにMilesの機能性とシステムパフォーマンスをテストしていただき、正式に受け入れ判断をします。
- 最終的な(正式な)UATのリスクを軽減するために、ウェブごとに非公式なUATを実施することを推奨します。

18 Go-Liveフェーズ

05 Go-Live & Go-Live後フェーズ

この最終段階には、Milesの実際の導入と旧システムのMilesへの切り替えが含まれます。
この作業は通常週末など非営業日に行われ、ユーザーや顧客に配慮しながら実施します。



Start Miles

導入後サービス



弊社では導入プロジェクト中にエンドユーザーおよびキーユーザー様向けにMilesトレーニングを実施しています。またお客様のご要望に応じた追加のトレーニングもご提供しています。

機能トレーニング

機能の概要の説明およびエンドユーザーの皆様へMilesの使い方をご理解いただくことを目的としています。

テクニカルトレーニング

このトレーニングでは、お客様のIT部門を対象にMilesのアーキテクチャ、データモデル、Milesサーバのインストールと設定など、さまざまな手順についてナレッジを共有いたします。

コンフィグトレーニング

このトレーニングでは、お客様のビジネス要件を反映した様々なユースケースを通して、キーユーザーの皆様へMiles環境の設定方法を実践的に学んでいただけます。

カスタマイズされたトレーニング

お客様のリクエストにあわせた追加トレーニングを提供しています。

同じ自動車リース業界の「ことば」を話すわたしたちはお客様が抱える課題の本質をくみ取りつつ、的確なコンサルティングを提供しています。

多岐にわたる業務プロセスをシステム制御

Miles導入プロジェクトではお客様一人一人に詳細な要件収集ワークショップを実施しています。ビジネスプロセス最適化に必要なビジネスプロセスマッピングから複数国にまたがった複雑なビジネスプロセスの統合まで、当社のコンサルタントが結果につながる支援をさせていただきます。

Milesのコンサルティング

Milesトレーニングを受けていただくことによりお客様の社内キーユーザーや管理者がメンテナンスを担当することができます。また大型アップデートの準備や、システム構築の際の監査など、貴社内のエキスパートをあらゆる角度からサポートします。

- ソフィコ・サービス・ジャパン株式会社
 - 本社所在地:東京都港区虎ノ門2-4-1 虎ノ門ピアザビル
 - 設立:2011年12月 アジア大洋州地域へのビジネス拡大のため、ソフィコ・サービス・オーストラリアからの出資を受けて設立
 - 資本金:10百万円
 - 事業内容:日本及び韓国およびタイ、その他東南アジア諸国における自動車リース、車両管理業者向け車両・契約管理システムの開発、販売及び導入支援
 - 従業員数:19人(アジア大洋州では、約60名)

- ソフィコNV (ベルギー)
 - 本社所在地: Technologiepark 84, B-9052 Zwijnaarde, Belgium
 - 設立:1988年
 - 資本金:非公開
 - 事業内容:自動車リース、車両管理業者向け車両・契約管理システムの開発、販売及び導入支援
 - グローバル事業所展開:イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、メキシコ、オーストラリア、日本
 - 従業員数:全世界で約460名



一般社団法人日本自動車リース協会連合会
東京自動車リース協会 加入



MONETコンソーシアム



電子インボイス推進業議会



ISO/IEC 27001:2013
CERTIFIED

情報セキュリティマネジメントシステム
ISO/IEC 27001認証取得済



お問い合わせフォーム

<https://www.sofico.co.jp/contact/>



お電話でのお問い合わせ

03-3508-7560

(日曜・祝日を除く9:00-17:00)

SOFICO

©2022 Sofico